

WAGOMI TOWN TOPICS

あなたの身近な話題をお知らせください。

問い合わせ先 総務課 企画室 広報担当まで(内線208)

体育指導委員表彰

このたび、体育指導委員として日頃からの活動が認められ、2人の指導委員がそれぞれ表彰されました。

上岩区の荒木拓馬さんは、11月19日(木)、全国体育指導委員連合より30年勤続体育指導委員表彰を受けられました。

荒木さんは、昭和55年4月から町の体育指導委員として長きにわたり地域の

スポーツ振興を推進され、今年で30年目を迎えられました。

また下久井原区の坂梨正国さんは、11月14日(土)、熊本県体育指導委員功労者として表彰されました。坂梨さんも、平成13年4月から町の体育指導委員として活躍され、今年で9年目になられます。

これからもますますのご活躍を願っています。おめでとうございます。



▲荒木体育指導委員(右)と坂梨体育指導委員(左)

みんなで守る森 野口健さんを迎えて「環境学校」

11月15日(日)ふれあいの森(平野)で、エベレストや富士山など世界中の山にゴミを拾いながら登山することで有名な野口健さんを迎えて「環境学校」を開催しました。昨年に続いて、和水町、富士電機、熊本県立大学、津田平野里づくり協議会などが共同で実施したもので、和水町や南関町などの小学生38人が参加し、森の役割や環境保全の

大切さを学びました。子どもたちは、4つの班に分かれ、竹を切り出し、竹飯ごうを作ってご飯を炊き、自分で使う器や箸も竹で作りました。地元の人たちが用意した豚汁や漬物と一緒に自然の中で食べるのは最高です。午後はクヌギを植えたり森に入っの環境学習をしたりしました。最後に野口さんから終了証を渡され、「楽しかった。またやりたい。」と嬉しそうでした。実際に森に入っり山体験をすることで、教科書では学べない環境の勉強ができたと思います。



▲野口健さんと子どもたち

観光宣伝隊を結成し、関西和水会総会で観光等PR

関西和水会は、主に関西地域にお住まいの和水町出身の方々(約280名)で構成される郷里出身者の会です。

11月8日(日)、大阪市内のホテルで本会総会が開催され、坂梨町長をはじめ、戦国肥後国衆まつりの和仁五人衆及び第25代卑弥呼で構成された観光宣伝隊が、観光、定住促進及びふるさと納税等のPRを行いました。

総会では、戦国肥後国衆まつりの一部を再現した寸劇などを披露し、関西和水会の方々には、故郷を懐かしむとともに、たいへん喜ばれていました。

平成23年春には、九州新幹線が全線開業します。また、高速道路では料金割引に加え、完全無料化が検討されています。今後、関西地域などからの多くの観光客が期待されています。

これからも郷土和水町の発展のために関西和水会の方々に応援団となって、ご支援、ご協力をいただけるものと思います。



▲戦国まつりの一部を再現した寸劇を披露し、観光PR等を行いました

銀河ステーションで敬老会が行われました

11月19日(木)銀河ステーションが地元のお年寄り15人を招待して、敬老会を行われました。毎年開かれている敬老会では、銀河ステーションでの活動を幅広く知っていただくため、また交流の場として足湯やお茶会などといった楽しいプログラムが用意されていました。お茶会では、重い障がいを持った人たちが福

祉機器を使ってたてた抹茶を、お年寄りたちはおいしそうに召し上がっていました。

お琴、尺八のコンサートでは、お年寄りと一緒に通所者の人たちも美しい音色に酔いしれ、楽しいひとときを過ごしていました。



◀抹茶をいただくお年寄りたち



お琴と尺八のコンサート▶

青年団ウォークラリー大会楽しかったよ!

11月15日(日)田中城一帯で青年団ウォークラリー大会in和が行われました。歴史と文化のふれあい広場をメイン会場とし、参加者は田中城一帯約3.5kmのコースを歩きながら、クイズを解いたり、レクリエーションをしたりと楽しい1日を過ごしました。

当日は、風こそ冷たかったものの天気もよく、

歩いているうちにぼかぼかと体も温まってきて、ゴールする頃には、上着を1枚脱いで帰ってくる参加者も見うけられました。また、昼食の準備もされており、豚汁とおにぎりが振舞われました。表彰式・抽選会も行われ大盛り上がりでした。

青年団ウォークラリーは、今回で11回目を数えます。毎年秋に行われていますので、来年は皆さんも参加されてみてはいかがでしょうか?



▲クイズを解いています

和水町文化祭

今年も11月7(土)~9日(月)にかけて『和水町文化祭』が開催されました。今回は、より多くの人に文化祭を楽しんでもらえればと期間を3日間に延ばしました。今年もたくさんの方が来場され大盛況となりました。

会場内は、文化協会や一般の作品をはじめ、町内の保育園、小中学生、介護施設などから習字やリフ

ォーム作品など素晴らしい作品でいっぱいでした。

8日(日)の午後には、会場内講堂ステージで開会行事と演芸の部が行われ、神尾保育園児によるわが町の自慢を紹介した出し物や、日本舞踊や銭太鼓演奏など楽しい発表ばかりでした。今年、菊水地区の自主サークル(2団体)にも出演していただき、交流も深めることができました。ご協力いただいたみなさん大変お世話になりました。



◀コスモス学級による作品



▲神尾保育園児による発表

八つの神様巡り

和水町と山鹿市、南関町の各教育委員会で組織する国衆一揆顕彰会議の「歴史探訪」が、11月28日(土)に開催されました。10回目となる今回は、本町が事務局の関係で、町内に点在する「八つの神様」巡りを行い、町内外から36名の参加がありました。

9時30分からスカイドーム2000で開会式を行

い、午前中に目、イボ、胃、性・腰、歯、命の神様を回って、春富集会センターで昼食をとり、午後からは、花の香酒造で試飲を楽しんだあと、田中城に登って耳の神様に参りました。手足の神様までは距離がありますので、車を利用して回り、予定どおり3時にスカイドームに帰り着きました。

今回は、炒った大豆・米・火吹き竹などを準備して、昔ながらのお参りの方法で楽しんでもらいました。



▲イボの神様に炒った大豆を撒いてお参りする参加者